

点検・評価報告書（危機管理学研究科）

基準 1 理念・目的

1 現状分析

点検・評価項目①

大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。

<評価の視点>

- ・大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにしているか。
- ・理念・目的を教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。

① 学部等ホームページに、以下の項目を掲載し、社会に公表していますか。

- (1) 日本大学の目的及び使命
- (2) 日本大学の教育理念
- (3) 日本大学教育憲章
- (4) 学部においては、学部、学科ごと、研究科においては、研究科、専攻の課程ごと、短期大学部においては、学科、専攻科ごとの教育研究上の目的

[自己評価]

全ての項目を掲載している。

一部の項目を掲載していない。

掲載していない項目番号：(1)，(2)，(3)

掲載していない理由：大学本部ホームページに掲載されているため。

今後の対応：全学的な方針に基づき対応方法を検討する。

その他回答

② 履修要覧に、以下の項目を掲載し、学生に周知していますか。

- (1) 日本大学の目的及び使命
- (2) 日本大学の教育理念
- (3) 日本大学教育憲章
- (4) 学部においては、学部、学科ごと、研究科においては、研究科、専攻の課程ごと、短期大学部においては、学科、専攻科の教育研究上の目的

[自己評価]

全ての項目を掲載している。

一部の項目を掲載していない。

その他回答

2 長所・特色・問題点

【長所・特色】

危機管理学研究科の理念・目的の特色は、現代社会の複雑化した危機の中で、危機管理学に関する高度の学識を適用してレジリエントな社会の創造に貢献するという本研究科が養成する人材

像を描いている点である。また、本研究科の理念・目的の長所は、危機や社会課題を「学術的」に探求し、危機管理を解明し普及させる指導的人材のみならず、危機管理の「実践的」知識を有する高度専門職業人の養成も重視している点である。

基準 2 内部質保証

1 現状分析

点検・評価項目①

内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。

<評価の視点>

- ・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価をそれぞれ定期的実施し、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。
- ・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価の客観性、妥当性を高めるために、学生の意見や外部の視点を取り入れるなどの工夫をしているか。

③ 学部等において、P D C Aサイクルをどのように機能させているか、内部質保証体制（内部質保証推進委員会、自己点検・評価委員会、各委員会組織、教授会、執行部会等の役割や関係性）や、活動内容について記述してください。

三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会での検討を参考にして大学院委員会及び大学院分科委員会で研究科に関する点検・評価を行い、必要な事項を執行部会に報告して研究科運営の改善につなげるというP D C Aサイクルを機能させている。研究科のP D C Aサイクルが機能している根拠が、内部質保証体制、活動記録又はP D C Aサイクル図などの文書だとするならば、それらは存在しない。

④ 三つの方針について、どの組織が、どのように検証しているか記述してください。

三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会での検討を参考にして大学院委員会及び大学院分科委員会において点検・評価を実施し、必要な事項を執行部会に報告し、検証を進めている。危機管理学研究科は、令和6年度末をもって完成する。本研究科では令和7年度新カリキュラム施行に向けた検討を大学院委員会及び大学院分科委員会において実施し本部にも内申を完了している。今後、同委員会において三つの方針について検証を進めるものである。

⑤ 外部評価を実施（令和3年度から令和5年度までの期間）している場合、点検・評価項目を記述してください。

行っていない。

⑥ 外部評価の結果、改善・向上に取り組んだ事項について記述してください。

該当なし

⑦ 今後、外部評価、分野別評価、法科大学院認証評価、J A B E E認定を受審する予定があれば記述してください。

修士課程の開設後2年を経過した令和7年度以降に外部評価を実施予定である。

- ⑧ 教育の質の向上を図るために、学生からの意見を取り入れていますか。取り入れている場合は、その内容を具体的に記述してください。

教育全般について各科目担当教員や指導教員が学生の意見を聴取している。

点検・評価項目②

大学の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしていること。

＜評価の視点＞

- ・教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。
- ・教育研究活動の情報として、学生の学習実態、学習上の成果に関わる情報を社会に分かりやすく公表しているか。

- ⑨ 学部等ホームページに公表している学校教育法施行規則第172条の2第1項に定める以下の教育情報は、最新の情報に更新されていますか。

- (1) 教育研究上の目的
- (2) 教育研究上の基本組織
- (3) 卒業の認定に関する方針
- (4) 教育課程の編成及び実施に関する方針
- (5) 入学者の受入れに関する方針
- (6) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績
- (7) 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数
- (8) 卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況
- (9) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画
- (10) 成績評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準
- (11) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境
- (12) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用
- (13) 修学支援、生活支援、進路支援その他の学生支援

[自己評価]

- 全ての項目が更新されている。
 一部の項目が更新されていない。
 その他回答

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い、改善・向上に向けた取組を行っていること。

＜評価の視点＞

- ・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し、その結果に基づき、教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪ 学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

令和5年度に開設された危機管理学研究科では、開設後2年を経過した令和7年度以降に、それまでの研究科における諸活動の成果や問題点を踏まえて、研究科独自の内部質保証システムの構築について検討する予定である。

2 長所・特色・問題点

なし

基準3 教育研究組織

1 現状分析

点検・評価項目①

大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況が適切であること。

<評価の視点>

- ・大学の理念・目的を踏まえ、また、学問の動向や社会的要請等に配慮した上で、教育研究組織（学部・研究科や附置研究所、センター等）を構成しているか。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

⑫ 学問の動向や社会的要請等に対応すべく、学科や研究所の新設、学科の改組等、教育研究組織の見直しについて、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

令和5年度に開設された危機管理学研究科では、開設後2年を経過した令和7年度以降に、それまでの研究科における諸活動の成果や問題点を踏まえて、研究科独自の教育研究組織の見直しを検討する予定である。

2 長所・特色・問題点

なし

基準 4 教育・学習

1 現状分析

点検・評価項目①

達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的な在り方を示していること。

<評価の視点>

- ・卒業の認定に関する方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成及び実施に関する方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。
- ・上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。

[卒業の認定に関する方針について] (修士・博士・専門職学位課程)

㉓ 課程・専攻ごとに定めていますか。

[自己評価]

- 定めている。
 定めていない。
 その他回答

㉔ 「学生が修得すべき知識」、「技能」、「態度」等、当該課程・専攻にふさわしい学習成果を示していますか。

[自己評価]

- 示している。
 見直す必要がある。
 その他回答

㉕ ステークホルダーが見て、分かりやすく、理解しやすい表現・内容となっていますか。

[自己評価]

- なっている。
 見直す必要がある。
 その他回答

[教育課程の編成及び実施に関する方針について] (修士・博士・専門職学位課程)

㉖ 課程・専攻ごとに定めていますか。

[自己評価]

- 定めている。
 定めていない。
 その他回答

㉗ 卒業の認定に関する方針との関連性が明確ですか。

[自己評価]

明確である。

見直す必要がある。

その他回答

⑳ 卒業の認定に関する方針に基づき、「教育課程の体系」、「教育内容」、「教育課程を構成する授業科目区分」、「授業形態」、「学修成果の評価」を示していますか。

[自己評価]

示している。

見直す必要がある。

その他回答

㉑ ステークホルダーが見て、分かりやすく、理解しやすい表現・内容となっていますか。

[自己評価]

なっている。

見直す必要がある。

その他回答

点検・評価項目②

学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。

<評価の視点>

- ・学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成及び実施に関する方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。

⑳ 各授業科目は、授与する学位（又は、課程・専攻）と整合していますか。

[自己評価]

整合している。

見直す必要がある。

その他回答

㉑ 各授業科目は、体系的に編成されていますか。

[自己評価]

編成されている。

見直す必要がある。

その他回答

㉒ 各授業科目の到達目標が、シラバスに明示されていますか。

[自己評価]

明示されている。

見直す必要がある。

その他回答

③③ 各授業科目は、学習時間を考慮し、授業期間及び単位が設定されていますか。

[自己評価]

設定されている。

見直す必要がある。

その他回答

点検・評価項目③

課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。

<評価の視点>

- ・授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成及び実施に関する方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。
- ・授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。

③④ 学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性を踏まえた対応をしていますか。

[自己評価]

対応している。

見直す必要がある。

その他回答

③⑤ シラバスは、学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容ですか。

[自己評価]

十分である。

見直す必要がある。

その他回答

③⑥ 学生が意欲的かつ効果的に学習できるように、以下の項目について取り組んでいますか。

- (1) 授業の履修に関する指導
- (2) 学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認
- (3) 授業外学習に資するフィードバック

[自己評価]

全ての項目について取り組んでいる。

一部の項目について取り組んでいない。

上記以外の事項について取り組んでいる。

その他回答

点検・評価項目④

成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。

＜評価の視点＞

- ・ 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。
- ・ 成績評価及び単位認定に係る基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。
- ・ 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。
- ・ 学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。
- ・ 卒業の認定に関する方針に則して、適切に学位を授与しているか。

⑳ 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。

[自己評価]

- 実施している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

㉑ 成績評価及び単位認定に係る基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示していますか。

[自己評価]

- 明示している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

㉒ 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を、客観的かつ厳格で、公正、公平に行っていますか。

[自己評価]

- 行っている。
- 見直す必要がある。
- その他回答

㉓ 学位授与における実施手続及び体制が明確ですか。

[自己評価]

- 明確である。
- 見直す必要がある。
- その他回答

[研究指導計画について]（修士・博士課程）

㉔ 研究指導計画を大学院要覧に明示していますか。

[自己評価]

- 明示している。
 明示していない。
 その他回答

④② 研究指導計画には、入学から学位取得までの研究指導の方法、内容及びプロセスを明示していますか。

[自己評価]

- 明示している。
 見直す必要がある。
 その他回答

点検・評価項目⑤

卒業の認定に関する方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。

<評価の視点>

- ・ 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。
- ・ 学習成果を把握・評価する指標や方法は、卒業の認定に関する方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。
- ・ 指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、学部として設定する目的に応じた活用を図っているか。

④③ 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法について記述してください。

学習成果を把握・評価する目的は、学生の習熟度を明らかにするとともに授業方法の改善を図ることであり、学生の理解度と表現力が指標となる。把握・評価は、授業での討議内容、レポート及び修士論文で行っている。

④④ 上記指標や方法を用いて把握・評価した学習成果を、学部等でどのように活用しているか記述してください。

把握・評価した学習成果は、学生の習熟度を明らかにするとともに授業方法の改善に活用している。

[学位論文審査基準について] (修士・博士課程)

④⑤ 学位論文審査基準をホームページに公表していますか。

[自己評価]

- 公表している。
 公表していない。
 その他回答

④⑥ 学位論文審査基準を大学院要覧に明示していますか。

- 明示している。
- 明示していない。
- その他回答

④7 学位論文審査基準には、以下の項目が明示されていますか。

- (1) 学位論文が満たすべき水準
- (2) 審査体制
- (3) 審査方法（項目）

[自己評価]

- 全ての項目を掲載している。
- 一部の項目を掲載していない。
- その他回答

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。
- ・課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。
- ・自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。

⑤1 教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

各学期に行う授業評価アンケート及びFD研修等により適宜改善を図っている。

⑤2 点検・評価するに当たり，学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報をどのように活用しているか記述してください。

学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等は，学生への学修指導，授業の改善，進路指導体制の改善などに活用している。

⑤3 教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

自己点検・評価の結果は，令和7年度からの施行に向けて実施中の新カリキュラムの検討に活用している。

2 長所・特色・問題点

なし

基準 5 学生の受け入れ

1 現状分析

点検・評価項目①

入学者の受け入れに関する方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。

<評価の視点>

- ・入学者の受け入れに関する方針は、学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。
- ・入学者の受け入れに関する方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。
- ・入学者の受け入れに関する方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。
- ・入学者選抜に当たり、特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。
- ・全ての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。

⑤4 入学者の受け入れに関する方針を学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定していますか。

[自己評価]

- 設定している。
- 設定していない。
- その他回答

⑤5 入学者の受け入れに関する方針には、卒業の認定に関する方針及び教育課程の編成及び実施に関する方針を踏まえた「入学前の学習歴」、「学力水準」、「能力等の求める学生像」及び「入学希望者に求める水準等の判定方法」を志願者等に理解しやすく示していますか。

[自己評価]

- 示している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

⑤6 入学者選抜を、体制・仕組みに基づき公平、公正に実施していますか。

[自己評価]

- 実施している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

⑤7 入学者選抜に当たり、特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備していますか。

[自己評価]

- 整備している。

- 見直す必要がある。
- その他回答

点検・評価項目②

適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。

<評価の視点>

- ・ 学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。

大学基礎データ（表2）

研究科・課程	入学定員充足率の5年平均 (令和2年度～令和6年度)	収容定員充足率 (令和6年度)
危機管理学研究科（修士課程）	0.63	0.63

⑤⑧ 「大学基準協会の評価の指針」により、定員超過あるいは定員未充足の場合は、どのような対策をとっているか記述してください。

該当なし

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・ 学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・ 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

⑤⑨ 学生の受け入れに関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

大学院分科委員会にて点検・評価し、その結果、入試広報に関する対応の改善を図った。

2 長所・特色・問題点

なし

基準6 教員・教員組織

1 現状分析

点検・評価項目①

教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員

組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。

<評価の視点>

- ・「学部等教員組織編制方針」に基づき、教員組織を編制しているか。
 - ▶専任教員数の遵守、教員の構成
 - ▶教育効果に配慮したクラス編成、専任教員の授業負担への配慮
 - ▶教員の適切な役割分担及び責任の所在の明確化
 - ▶教員の資質向上
 - ▶その他、学部等として重視するポイント
- ・教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。
- ・TA、SA又はGSAを置いている場合、ガイダンスや研修を実施した上で業務をさせているか。

(修士・博士課程)

⑥③ 各専攻における研究指導教員数は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての専攻において満たしている。
- 一部の専攻において満たしていない。
- その他回答

(修士・博士課程)

⑥④ 各専攻における教授数は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての専攻において満たしている。
- 一部の専攻において満たしていない。
- その他回答

(修士・博士課程)

⑥⑤ 各専攻における研究指導教員数及び研究指導補助教員数の計は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての専攻において満たしている。
- 一部の専攻において満たしていない。
- その他回答

⑥⑦ 特定の教員に過度な授業負担が生じないように、どのように配慮しているか記述してください。

科目の整理・統合、合理的な時間割編成、不足している専門領域の教員の補充などの人事計画を進めて、特定の教員に過度な授業負担を生じないようにしている。

⑥⑧ 教育研究活動を実現するために、教員と職員とがどのように役割分担をし、それぞれの責任を明確にし、協働・連携しているか記述してください。

教育研究と管理とで役割分担をして、教員は主に教育と研究に従事し、学生指導や学術的な発展を担っている。職員は研究科運営の基盤となる管理業務を行い、教員の教育研究へのサポートをしている。また、教職員が参加する会議、委員会を通じて互いの業務への協働と連携を促進している。

⑥9 TA, SA又はGSAを置いている場合、どのようなガイダンスや研修を実施し、どのような業務をさせているか記述してください。

置いていない。

点検・評価項目②

教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。

<評価の視点>

- ・教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準及び手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っているか。
- ・年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っているか。また、性別など教員の多様性に配慮しているか。

⑦0 教員を採用するに当たり、どのような方法（公募等）で募集しているか記述してください。

本研究科においては、専門領域における教育研究者の紹介で募集をしている。

⑦1 「教員の募集」、「教員の採用」及び「教員の昇任」について、明文化された基準及び手続に従い公正に行っていますか。

[自己評価]

- 公正に行っている。
 基準や手続き方法を見直す必要がある。
 その他回答

⑦2 教員の年齢構成に著しい偏りがないように、どのように取り組んでいるか記述してください。

研究科の教員の年齢構成に著しい偏りは見られない。

⑦3 教員の男女比に著しい偏りがないように、どのように取り組んでいるか記述してください。

新規採用の際には女性教員の採用を念頭に置いている。

⑦4 大学院担当教員の資格審査基準は、大学院設置基準第9条第1項各号に沿ったふさわしい内容となっていますか。

[自己評価]

- ふさわしい内容である。
 見直す必要がある。
 その他回答

点検・評価項目③

教育研究活動等の改善・向上，活性化につながる取組を組織的かつ多面的に実施し，教員の資質向上につなげていること。

＜評価の視点＞

- ・教員の教育能力の向上，教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取組を行い，成果を得ているか。
- ・教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために，組織的な取組を行い，成果を得ているか。
- ・大学としての考えに応じて教員の業績を評価する仕組みを導入し，教育活動，研究活動等の活性化を図ることに寄与しているか。

⑦⑤ 教員の教育能力の向上，教育課程や授業方法の開発及び改善につなげるために，どの組織が，どのように取り組み，その結果どのような成果を得ているか記述してください。

大学院分科委員会を中心に授業方法の改善に取り組んでおり，その結果，令和7年度から新カリキュラムに移行することとなった。

⑦⑥ 教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために，どの組織が，どのように取り組み，その結果どのような成果を得ているか記述してください。

大学院分科委員会において，学部と連携しながら研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上に取り組んでいる。

⑦⑦ 教員の教育活動，研究活動，社会活動等に関する業績について，どの組織が，どのように評価しているか記述してください。

執行部により，各種活動について総合的に評価している。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- ・教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組む，効果的な取組へとつなげているか。

⑦⑧ 教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会での検討を参考にして大学院委員会及び大学院分科委員会において点検・評価を実施し，必要な事項を執行部会に報告し，検証を進めている。なお，教育組織に特化せず，他の要素とともに検討している。

2 長所・特色・問題点

なし

基準7 学生支援

1 現状分析

点検・評価項目①

学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。

<評価の視点>

- ・学生支援に関する大学としての方針に基づき、各種の学生支援体制を整備し、教員と職員がそれぞれ役割を果たしながら支援を行っているか。
- ・各種の学生支援に当たり、専門的な知識・能力や経験を有する者を含む必要なスタッフを配置しているか。
- ・学生支援に関する情報を学生に積極的に提供するとともに、その支援は学生の利用しやすさに配慮しているか。

[修学支援（学習面）]

- ・学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備しているか（補習教育、補充教育、学習に関わる相談等）。
- ・障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っているか。
- ・学習の継続に困難を抱える学生（留年者、退学希望者等）に対し、その実態に応じて対応しているか。

[修学支援（経済面）]

- ・学生に対する経済的支援（授業料減免、学内外の奨学金を通じた支援等）を、学生の実態等に応じて行っているか。

[生活支援]

- ・学生の心身の健康、保健衛生等に関わる指導相談を、学生の実態に応じて行っているか。
- ・学生の孤立を防止するため、人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）を必要に応じて行っているか。

[進路支援]

- ・各学位課程（学士課程、修士課程や博士課程等）や分野等における必要性、個々の学生の特性等に応じ、就職支援のほか、職業的自立に向けたキャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援を行っているか。

[その他支援]

- ・上記のほか、部活動・ボランティア活動等の正課外における学生の活動への支援等、必要に応じた支援を行っているか。

[学生の基本的人権の保障]

- ・ハラスメント防止、プライバシー権の保障や苦情申立への対応等、学生の基本的人権の保障を図る取組を行っているか。

[修学支援（学習面）]

㉗ 学生が能力に応じて自律的に学習を進められるように、どのようにサポートしているか記述してください（補習教育，補充教育，学習に関わる相談）。

各科目担当教員及び指導教員が必要に応じて補習教育や研究に関わる相談を行っている。

㉘ 留年者について、どのように状況を把握し、どのように対応しているか記述してください。

留年者なし

㉙ 退学希望者について、どのように状況を把握し、どのように対応しているか記述してください。

退学希望者なし

㉚ 留年者や退学希望者の減少に向けて、どのように取り組んでいるか記述してください。

行っていない。

[修学支援（経済面）]

㉛ 学生に対して、経済的支援（授業料減免，学内外の奨学金を通じた支援を除く）をどのように行っているか記述してください。

学内イベント等における運営スタッフとして学生を積極的に雇用している。

[生活支援]

㉜ 学生の孤立化を防止するため、人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）をどのように行っているか記述してください。

大学院に院生室を設置して学生間の人間関係構築の場としている。

[進路支援]

㉝ キャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援をどのように行っているか記述してください。

各指導教員及びキャリア支援担当職員による進路相談・支援を行っている。

[その他支援]

㉞ 正課外における部活動・ボランティア活動等の学生の活動について、どのように活性化を図っているか記述してください。

学生の自主性に任せており、特段の措置はない。

[学生の基本的人権の保障]

㉟ ハラスメント防止，プライバシー権の保障や苦情申立への対応等，学生の基本的人権の保障を図る取組について記述してください。

各指導教員による対応，三軒茶屋キャンパス学生相談室による対応及び大学本部の人権相談オフィスによる対応を行っている。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

88 学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会での検討を参考にして大学院委員会及び大学院分科委員会において点検・評価を実施し，必要な事項を執行部会に報告し，検証を進めている。なお，学生支援に特化せず，他の要素とともに検討している。

2 長所・特色・問題点

なし

基準 8 教育研究等環境

1 現状分析

点検・評価項目①

教育研究等環境の整備に関する方針に基づき，学生の学習，教員の教育研究活動に必要な環境を適切に整備していること。

<評価の視点>

- ・教育研究等環境の整備に関する方針に基づき，学生の学習環境や教員の教育研究環境を適切に整備しているか。
- ・学生の学習や教員の教育研究活動の必要性に応じてネットワーク環境や I C T 機器を整備し技術的な支援を行う等により，それらの活用を促進しているか。
- ・学生及び教職員の情報倫理の確立を図るために取り組んでいるか。

89 バリアフリーへの対応をしていますか。

[自己評価]

- 全ての校舎において対応している。
- 一部の校舎において対応していない。
- その他回答

90 施設，設備等の安全・衛生の確保に取り組んでいますか。

<p>[自己評価]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全ての校舎において対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部の校舎において対応していない。</p> <p><input type="checkbox"/> その他回答</p>
<p>⑨① 施設，設備等の維持及び規定に基づいた管理をしていますか。</p> <p>[自己評価]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全ての校舎において対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部の校舎において対応していない。</p> <p><input type="checkbox"/> その他回答</p>
<p>⑨② 学生や教員に対し，ネットワーク環境やICT機器に関する技術的な支援をどのように行っているか記述してください。</p> <p>学内のヘルプデスクに専門の技術者を2名配置し，技術的な支援を行っている。</p>
<p>⑨③ 学生の自主的な学習を促進するために，どのように環境整備をしているか記述してください。</p> <p>大学院に院生室を整備するとともに，図書館の蔵書の充実を行っている。</p>
<p>⑨④ 学生に対し，情報倫理を遵守させるために，どのように取り組んでいるか記述してください。</p> <p>各科目担当教員及び指導教員が学生に対して注意喚起を行っている。</p>
<p>⑨⑤ 教職員に対し，情報倫理を遵守させるために，どのように取り組んでいるか記述してください。</p> <p>大学院分科委員会において注意喚起を行っている。</p>

<p>点検・評価項目②</p> <p>図書館サービス及び学術情報サービスを提供するための体制を備えていること。また，それらを適切に機能させていること。</p> <p><評価の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書その他の学術情報資料を体系的に整備しているか。 ・ 図書や学術情報資料の利用促進するための取組を図っているか。 ・ 図書館には，学生及び教員の利用のために，必要な専門的な知識を有する職員を含む人員を適切に配置しているか。また，図書館等の施設環境が適切であるか。

<p>⑨⑥ 図書や学術情報資料の利用促進のために，どのように取り組んでいるか記述してください。</p> <p>大学院生による図書リクエストなどを通じて蔵書の充実を図っている。</p>
<p>⑨⑦ 司書有資格者の人数を記載してください。</p>

専任職員：1人，臨時職員：0人，派遣職員：0人，業務委託職員：9人

98 図書館分館独自の取組について記述してください。

三軒茶屋キャンパス図書館分館において危機管理学の領域に即した企画展示を実施している。

点検・評価項目③

研究活動に関わる支援，条件整備を通じ，研究活動の促進を図っていること。また，健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。

<評価の視点>

- ・研究に対する大学の基本的な考えに沿って，長期的な視点に立った支援や条件整備を十分にいき，各教員の研究活動の活性化につなげているか（教員に対する研究費の支給，研究室の整備，研究時間の確保，専門的な研究支援人材の活用等の人的な支援，若手研究者育成のための仕組みの整備等）。
- ・研究倫理や研究活動の不正防止に関する規程を定め，かつ，学生も含めて研究倫理の遵守を図る取組を行っているか。

99 外部資金獲得のために，どのような学部等独自の制度や取組があるか記述してください。

科研費支援については大学本部の科学研究費助成事業の支援業務に係る支援制度を利用し，科研費審査員経験者かつ採択経験者等（他大学研究者含む）による研究計画調書の個別計画調書の添削を実施している。また採択者からのアドバイスなどを定期的に配信するなどの取組を行った。

その他外部資金については本部研究推進課より発出している日本大学研究助成金公募情報等通知システムで応募情報の周知共有をしている。

100 研究時間確保や研究専念期間保障のために，どのような制度や取組があるか記述してください。

受け持つ授業時間数の上限を設けるとともに研究日を設けている。

101 若手研究者育成のために，どのように取り組んでいるか記述してください。

学部生及び修士課程学生に対して，進路の一つとして研究者を紹介している。
研究成果発表の機会として研究紀要等への積極的な投稿を呼び掛けている。
学内研究会で若手研究者の発表や報告を実施している。

102 RAやPDを置いている場合，どのようなガイダンスや研修を実施し，どのような業務をさせているか記述してください。

置いていない。

103 学生に対して，研究倫理を遵守させるために，どのように取り組んでいるか記述してください。

大学院生に向けてコンプライアンス教育を実施するとともに，各指導教員が注意喚起を行っている。

また、大学院生に eAPRIN の指定プログラムを受講させている。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

⑩ 研究等環境に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

大学院委員会及び大学院分科委員会において点検・評価を実施し、必要な事項を執行部会に報告し、改善・向上を図っている。

2 長所・特色・問題点

なし

基準 9 社会連携・社会貢献

1 現状分析

点検・評価項目①

社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取組を実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。

<評価の視点>

- ・学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取組を行い、社会に対し周知しているか。
- ・社会連携・社会貢献に関する取組により、地域や社会の課題解決等に貢献し、学部等の存在価値を高めることにつながっているか。
- ・社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対し周知させる取組を行っているか。

⑩ 社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対し周知するために、情報にアクセスしやすいように特設サイトを開設しているか。

[自己評価]

- 特設サイトを開設している。
 特設サイトを開設していない。
 その他回答

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑩ 社会連携・社会貢献に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

研究科独自の取組は行っていない。

2 長所・特色・問題点

なし